

緑のセンターだより

NO. 213 平成 28 年 12 月 1 日発行

発行元：(公財) 札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

アスナロ (ヒバ・アテ)

アスナロはヒノキ科アスナロ属で一属一種の日本固有の常緑針葉樹です。高さ 10~30m、幹は直立し、樹皮は灰褐色で薄く、縦に裂けて薄くはがれ落ちます。小枝は羽状に互生し、扁平で水平です。葉はうろこ状で、交互に対生(十字対生)し、枝に密着しています。表面の葉は緑色ですが、裏面の葉には白い気孔群が目立ちます。球果はほぼ球形で長さ幅とも 12~16mm くらいです。変種に用材として優れたヒノキアスナロ (var. *hondae*) と矮性のヒメアスナロ (var. *nana*) があります。

アスナロは別名ヒバ(桧葉)とも呼ばれていますが、日本三大美林(木曾ヒノキ、秋田スギ、青森ヒバ)の青森ヒバは実はヒノキアスナロです。

アスナロは関東から四国・九州に分布し、ヒノキアスナロはアスナロより北方の下北半島・津軽半島を中心に渡島半島南部を北限に、日光付近を南限とした分布をしています。現在の檜山地方南部には、かつてヒノキアスナロがうっそうと茂り、生育する山を檜山(ひのきやま)と呼んでいました。松前藩は、藩を担う貴重な資源としてその利用と保護のために檜山番所、檜山奉行を設けて管理に努めていましたが、元禄 8 年(1695)の大火によって大半を焼失し、その後は乱伐や盜伐などにより檜山はいっきに荒廃していったと言われています。明治 2 年の国郡制施行に当たり、松浦武四郎はこのすばらしい檜山を後世に残したい思いでこの地域を檜山(ひやま)郡と命名したと言われています。

アスナロの名はその葉がヒノキより肉厚で大きいことから、古くは「厚桧(あつひ)」と呼ばれていました。その後、「厚桧」という呼び名は地域によってアスピあるいはアテヒ(葉の厚い桧、氣品のある桧の意)と転訛したようです。今でもアスピ、アテと呼んでいる地域があります。

また、「厚桧」は平安時代に「厚葉桧(あつばひのき)」となり、「明日は桧になろう」と解釈されて、アスナロウ→アスナロとなったという説もあります。

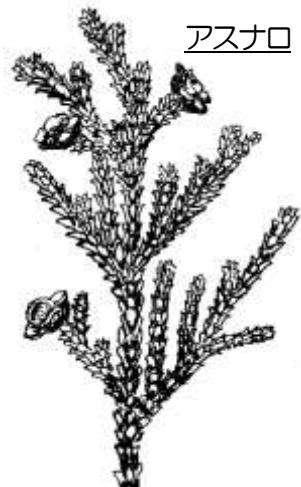
牧野新植物図鑑(北隆館)によると『アスナロの名前は「明日ヒノキになろう」と言う意味を持っている』という説で、アスピが元の名前と思われる、ヒはヒノキ、アスは意味がわから

ない。あるいはアテと通ずるものがあるかも知れぬ。』としています。「桧に良く似たアスナロの木は、来る日も来る日も思い続ける。明日こそ明日こそ桧になろう、明日なる明日なる桧になろう、桧になろう」とシーベルトの菩提樹の曲に乗せて歌われたこんな歌を覚えています。いつ何處でどの様に覚えたのか定かではありませんが、映画「あすなる物語」で使われていたのかも知れません。「明日は桧になろう」は俗説だろうと思いますが、願望と悲哀を秘めた一風変わった植物名のように思えて、共感を呼ぶ名前ではあります。ちなみに学名の *Thujopsis* もまた *Thuja* 【クロベ属(クロベ、ニオイヒバなど)】+ *opsis* (~に似た) の意で、何となく不遇な銘木と言わざるを得ない気がします。(T. K)

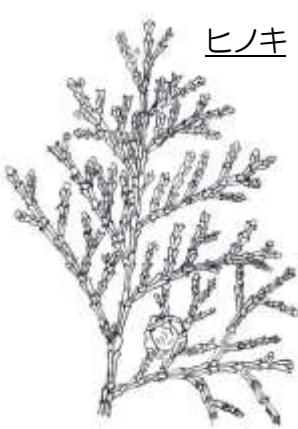
<参考文献> 「牧野新植物図鑑」北隆館、「園芸大百科事典」講談社、「木の名の由来」東京書籍

「植物名ラテン語辞典」至文堂、「檜山の地名由来とヒノキアスナロの歴史、ヒノキアスナロの歴史・文化に関する調査報告書【概要版】」檜山支庁経済部林務課編集

ヒノキ科 アスナロ属
Thujopsis dolabrata



ヒノキ



12月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00
☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 (月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
 ※ 12/29~1/3 は年末年始のため休館します。
 ※ 平岡樹芸センター・百合が原公園は
 冬期間相談受付しておりません。

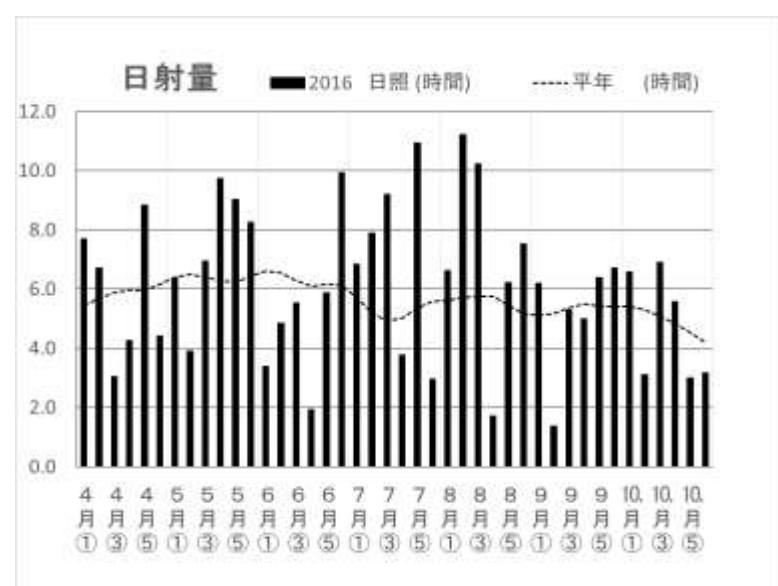
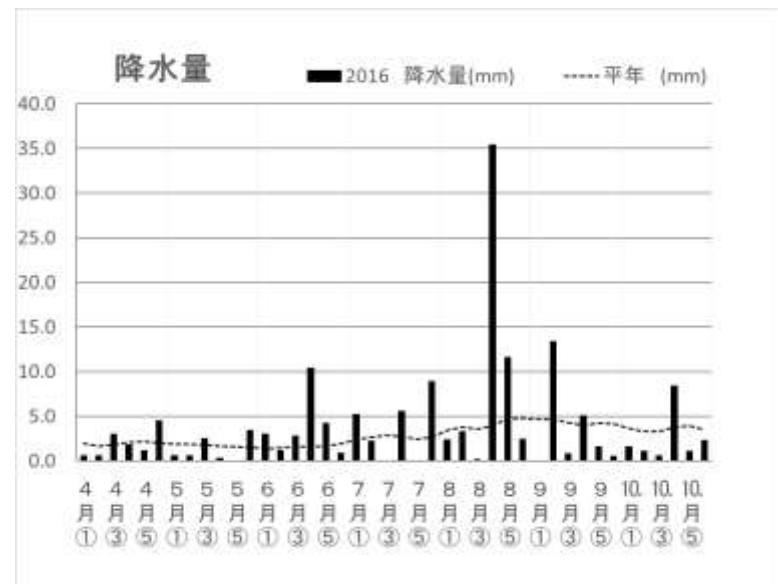
◆2016年の気象経過と相談内容

今年の特徴は雪解けが非常に早かった事です。平年ですと4月18~19日ですが、今年は3月28日で22日も早く雪が無くなりました。また、6月~7月上旬は雨と雨の間隔が短くジメジメした日が多く、8月~9月上旬は豪雨・多雨でした。

<< 相談内容 >>

4月：庭木・花木が弱っているとの質問が多くありました。これは雪解けが早く土が乾燥気味になったためと思われます。**5月**：「エゾヤマツツジの花弁の縁が脱色して白くなっている。サクランボが蕾のままで花が開かない」などの相談がありましたが、これらも土の水不足と思われます。病気はモモ、ウメ、キュウリなど。害虫はブドウ、ツツジ類、サクラなどで多く発生がありました。**6月**：上旬の日照不足でいろいろな病気、5月下旬の好天で害虫が多発し、6月に影響が現れました。**7月**：キュウリの曲がり果・黒星病、ナメクジ、いろいろな作物にウドンコ病などが多発しました。**8月**：豪雨・多雨の影響と思われる野菜の生育不良、にんじん割れ症、バラ・ウメの落葉、モミジの縁枯れ症があり、黒星病、ウドンコ病、軟腐病など、樹木にはハンノキハムシが多く発生しました。**9月**：8月下旬~9月上旬にかけての多雨で果樹・庭木に樹勢の低下が見られ、ジャガイモは畠での腐れも見られました。リンゴで黒点病・黒星病、ブドウで晩腐病・黒トウ病など、草花でサビ病など発生しました。害虫ではカイガラムシの被害が見られました。**10月**：庭木が1本、2本と枯れていくコガネムシの幼虫の被害と思われる相談がいつもより多く寄せられました。

例年ですと病気の多い年、害虫の多い年と分かれますが、今年は病気も害虫も発生が多かったといえるでしょう。



◆多肉植物冬型種の育て方

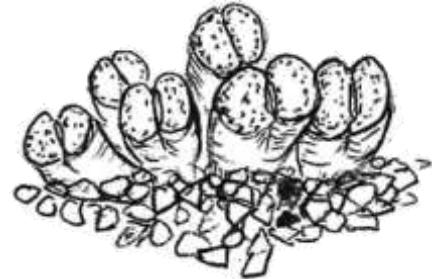
多肉植物は鮮やかな色彩、個性的な姿から人気の高い鉢物です。多肉植物は生育時期から冬型種、春・秋型種、夏型種の3タイプに分けられます。それぞれのタイプの特徴とこれからが生育期のリトープス（冬型種）の管理上のポイントについて説明します。

1. 多肉植物の3タイプ

	生育適温	生育期	原産地	主な属
冬型種	5~20°C	秋~春	南アフリカ、ナミビア、カナリア諸島、マデイラ諸島、アラビア半島の一部 他	リトープス、コノフィツム、クラッスラ、アエオニウム、セネキオ、オトンナ 他
春・秋型種	10~25°C	春・秋	アメリカ各地、メキシコ、ヨーロッパ中部からロシア、アフリカ北西部 他	エケベリア、セダム、セネキオ、ハオルチア、パキフィツム、センペルビズム、アロエ 他
夏型種	20~30°C	夏	アメリカ各地、地中海沿岸、南アフリカ～東アフリカ、アラビア半島 他	カラソコエ、コチレドン、ユーフォルビア、クラッスラ、アデニウム、フェルニア 他

2. リトープス（冬型種）の栽培ポイント

自生地は降水量が年間250mm以下の乾燥地帯です。乾燥には強いですが、高温多湿には大変弱い植物になります。植え込み用土が過湿ですと地際が蒸れやすくなります。管理上のポイントは常に風通しを良くします。



(1) 置き場所（日当たり）

北海道では秋から春は室内の日当たりと風通しの良い場所で管理します。休眠期の夏は風通しの良い半日陰か日陰で管理します。夏以外、半日陰での管理は徒長の原因になります。

(2) 水やり

リトープスは他の多肉植物より、乾燥気味に育てます。10月からは水やりの回数を徐々に増やし、11月～4月の間は鉢土が完全に乾いたらたっぷり与えます。冬の室内では過湿に注意が必要になります。5月からは回数を徐々に減らし、6月～8月の休眠中は水やりを中止します。

(3) 肥料

11月から4月上旬にかけて緩効性肥料(1g／3号鉢)を2ヶ月に1回または液体肥料を月2～3回与えます。

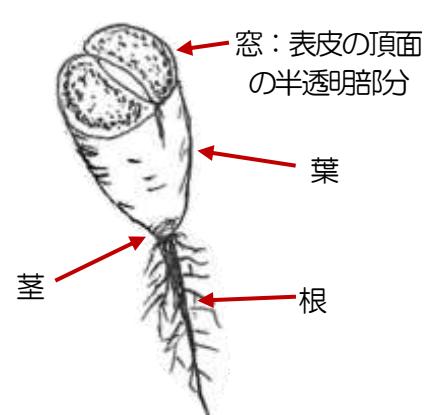
(4) 植え替え・株分け

秋が植え替え、株分けにもっとも良い時期ですが、夏は植え替えに適さない時期になります。

脱皮して成長し2～3年で1株は2株に増えますので、株分けは2年～3年に一回行うことができます。

(5) 用土

基本的に水はけの良い土を使います。市販のサボテン・多肉植物用土を使うか、自分で配合する方法もあります。その場合の配合割合の例として、火山礫(小粒)2+川砂2+鹿沼土(小粒)2+腐葉土2+バーミキュライト1+くん炭1などがあります。



(6) 病害虫

白い虫（ネジラミ）やカイガラムシが発生する場合があります。植え替え時に確認します。病気はありません。



12月～1月の催しのお知らせ



12/29～1/3は年末年始のため休館します。1/4(水)より通常通り開館します。

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyoHira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
クリスマス展withアレンジ押し花	12月6日(火)～12月25日(日)		豊平公園花とハーブの会 フラワーサークル香 ho花	入場無料

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL011-772-3511 <http://yuri-park.jp/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
イベント				
キャンドル作り講習会	H29.1月14日(土)	14:00～	12/11(日)～	300円
スノーキャンドル作り	“	“	直接会場へ	無料
スノーキャンドルの点灯	“	16:30～	“	“
展示会				
パンジービオラコレクション展	H29.1月11日(水)～1月22日(日)	(有)コテージガーデン	130円	
市民ラン展(29年1/24(火)～1/29(日)開催)一般参加展示鉢募集				
※ 12/6(火)～H29.1/22(日)の期間、電話にてお申し込み受付。参加費無料。				
※ 詳細は百合が原公園までお問い合わせください。				

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
ホワイトイルミネーション	11月19日(土)～12月25日(日)	直接会場 大通公園へ	さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会 281-6400
ミュンヘンクリスマス市	11月25日(日)～12月24日(土)		ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 実行委員会 211-2032
モエレのホワイトクリスマス 2016	12月24日(土)～25日(日)13:00～	直接会場へ: 入場料有	モエレ沼公園 790-1231
スノーキャンドルを作ろう!	12月24日(土)15:00～	直接会場へ: 無料	
あかり展	H29.1月7日(土)～3月5日(日)	直接会場へ: 無料	
ミニ門松づくり講習会	12月17日(土)・18日(日)10:00～	要申込: 1,500円	前田森林公园 681-3940
門松づくり・しめ縄リースづくり	12月17日(土)9:30～(いずれか1つ)	要申込: 1,000円	農試公園 615-3680
正月飾りづくり	12月18日(日)9:30～	要申込: 2,000円	
子りす工房こどもの日 「お正月の飾りをつくろう」	12月18日(日)10:00～	要申込: 500円	西岡公園 582-0050
滝野スノーワールドオープン!	12月23日(金祝)～	駐車料金有・別途入園料有	滝野すずらん丘陵公園 592-2222
イベント等の詳細は滝野すずらん丘陵公園のHPをご覧ください。 http://www.takinopark.com/			
松ぼっくりアート講座	12月18日(日)10:00～	要申込: 400円	川下公園 879-5311
川下公園ウィンターフェスティバル	H29.1月7日(土)～9日(月祝)10:00～ 毎日遊びが変わります。	遊びにより要申込 及び有料あり	
スノーキャンドル点灯	H29.1月8日(日)、9日(月祝)16:00～	直接会場へ	
冬休み平岡公園にぎわいフェスタ	H29.1月14日(土)13:00～	直接会場へ: 100円	平岡公園 881-7924

滝野すずらん丘陵公園

12月23日(金祝)
冬シーズンOPEN!!

チューブ・そりすべり・歩くスキー他

前田森林公园

29年1月5日OPEN!!

歩くスキー

モエレ沼公園

29年1月4日OPEN!!

歩くスキー、そり、
スノーシュー

農試公園

29年1月7日OPEN!!

- 歩くスキー(毎日開催)
- わいわいタイヤチューブ
(タイヤチューブは土日祝日のみ開催。
但しイベント時は休みます)

川下公園

29年1月7日OPEN!!

歩くスキー

中島公園

29年1月初旬OPEN!!

スノーシュー

雪の状況により開始日が変更になることがあります。
詳細は各公園管理事務所へお問い合わせください。